

## 「北九州港長期構想最終取りまとめ（案）」に対する市民意見の内容及び市の考え方

平成22年11月1日から平成22年11月30日までに実施しました市民の意見募集におきましては、市民の皆様から貴重のご意見・ご提案をいただきまして、誠にありがとうございました。

皆様から提出されました意見の概要及び、これに対する市の考え方を取りまとめましたので、次のとおり公表いたします。

なお、ご意見はその内容により一部要約または分割して考え方を記載しておりますので、あらかじめご了承ください。

平成23年4月1日

（問い合わせ先）北九州市 港湾空港局 計画課

〒801-8555 北九州市門司区西海岸 1-2-7

TEL 093-321-5967

FAX 093-321-5915

電子メールアドレス

kouwan-keikaku@city.kitakyushu.lg.jp

### ■意見募集の結果

- 1 実施時期 平成22年11月1日（月）から平成22年11月30日（火）まで
- 2 意見提出状況
  - (1) 提出者 21名
  - (2) 提出意見数 40件
  - (3) 提出方法
    - ア 持参 23件
    - イ ファクシミリ 13件
    - ウ 電子メール 4件
  - (4) 提出された意見の内訳
    - ア 長期構想全般に関するご意見 11件
    - イ 長期構想将来像に関するご意見 1件
    - ウ 主要施策案に関するご意見 1件
    - エ ゾーニング（地区別）に関するご意見 27件

## 「北九州港長期構想最終取りまとめ（案）」に対する意見の要旨と市の考え方

### 長期構想全般に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
1	長期構想の内容を総花的に実施するのではなく、北九州市の現状を考慮しながら、選択的、集中的に投資していくことを希望する。	この長期構想から概ね 10 年以内に実現を目指す必要がある事業について、北九州港の現状を踏まえたうえで、次期港湾計画に位置づける予定です。	6
2	北九州市の住みやすさは、物流や産業など生活に関わる機能が備わり、北九州港がその重要な役割を果たしている。この長期構想を通じ、市民に理解され、より良い港となることを期待する。	ご意見ありがとうございました。	2
3	北九州港が、今後の地域の産業の成長、市民の暮らし、環境にどのような役割を果たしていくのかを一言で表すキャッチコピーを希望する。	この新たな長期構想を表すキャッチフレーズは、「北九州港 アジア・グリーンポート構想」と決まりました。	1
4	時代の流れをよみ、競争力のある利用しやすい港づくりを希望する。	ご意見ありがとうございました。	2

### 長期構想将来像に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
5	環境施策や関門連携等、他港にはない独自色をもった港づくりを行えば、日本の海上物流拠点として確固たる地位を築けると考えるので、頑張りたい。	ご意見ありがとうございました。	1

将来像の実現に向けた主要施策（案）に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
6	本編64ページ中について、「にぎわい」という要素に加え、「憩いの場としての活用」の方向性を加えることを希望する。	本編63ページにおいて、ウォーターフロントと一体となった都市型空間や市民のアメニティ空間等として活用することを視野に入れた土地利用を検討しております。 また、現在、策定中の「新・海辺のマスタープラン」では、海辺づくりのコンセプトを「～海辺を舞台に 憩い・学び・遊ぶ！～ 魅力ある海辺をめざして」としております。	1

ゾーニング（地区別）に関するご意見

(1/4)

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
7	北九州空港へのアクセスの改善を希望する。	ご意見ありがとうございました。	1
8	ひびきコンテナターミナルは、多目的バースや地元産業界が必要とするバルク港湾へ転換すべきである。	本編78ページにおいて、ひびきコンテナターミナルは、コンテナ・RORO貨物も含めた多目的利用を推進するエリアへ転換していくとしています。	1
9	フェリーは、燃料費の高騰等や高速道路割引に伴う利用減により採算性は悪化しているが、フェリーの利用増に向けた施策は考えないのか。	フェリー輸送のコスト削減のため、フェリーの大型化が進んでいます。 本編72ページにおいて、フェリーの大型化やヤード不足等に対応する埠頭の再編や航路の拡幅を行うとしています。	2
10	物資が見込めない段階での鉄道の整備は、行き過ぎである。	他の輸送手段と比べてCO2排出量が少なく、輸送時のCO2削減への有効な手段の一つです。今後、環境改善へ向けた取り組みとして、鉄道輸送と海上コンテナ輸送の結節機能を強化する必要性が高まっていくと考え、鉄道によるアクセス強化の方向性を長期構想に位置付けています。	1

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
1 1	長期構想の中の施策である「シー&レール」や「モーダルシフト」に重点を置くことを希望する。	ご意見ありがとうございました。	2
1 2	グリーンエネルギーポートの意味が不明瞭である。	巻末資料の関連用語解説に、グリーンエネルギーポートの説明を追加しました。	1
1 3	新若戸道路を含め、市街地内の通過交通を専用道路へ導く指導の徹底を希望する。ただし、道路の高架化は見直すべきである。	本編78ページにおいて、自動車専用道路の延伸や既存道路の拡幅により、響灘地区へのアクセス強化を目指すとしています。	1
1 4	廃棄物処分場を海上に確保するよりも、ごみを発生させない施策を進めるべきではないか。	本市では、これまでも廃棄物の減量・資源化に努めていますが、廃棄物を全く発生させないことはできません。 快適な市民生活や市内中小企業などの産業活動を将来にわたって支えていくためには、長期、安定的に廃棄物処分場を確保していく必要があると考えています。	4
1 5	住民の生活環境を悪化させ、健康に影響を与え、海域の破壊につながる埋め立てによる廃棄物処分場はやめるべきである。	廃棄物処分場は、快適な市民生活や市内中小企業の産業活動を支えるために必要な施設です。 市域の大部分は、市街化区域、風致地区、国立公園等に指定されており、内陸部に長期安定的な廃棄物処分場を求めることは困難な状況にあるため、海域に確保する必要があると考えています。 廃棄物処分場の建設にあたっては環境アセスメント等を実施し、運営にあたっては必要な対策を講じることにより、市民の生活環境や自然環境の保全に努めていくこととしています。	2

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
16	船舶の大型化が進行していることから、早期の航路拡幅を希望する。	北九州港の現状や、港湾を取り巻く情勢を考慮しながら、概ね10年以内の実現を目指す事業について、この長期構想から次期港湾計画へ位置づける予定です。	2
17	北九州港は、歴史ある港であり、老朽化した施設もあるが、それら施設の適正な更新や、老朽化対策を要望する。	本編53ページにおいて、老朽化した施設の適切な維持管理について、長期的に利用状況を見極めながら進めていくとしています。	2
18	岸壁の整備に合わせて、岸壁背後には荷さばき地の確保を希望する。	ご意見ありがとうございました。	1
19	RORO船ターミナルは、高規格道路網を利用すれば、響灘と新門司地区の2箇所ですら十分なのではないかと。	RORO船ターミナルは、同船による多頻度・スピード輸送という貨物需要に対応するため、コンテナ及びフェリーターミナル周辺に必要となる施設と考えています。	1
20	素材産業の活況に伴い、重量物の取扱が増加している公共岸壁は、機能強化を行うべきではないかと。	北九州港の現状や、港湾を取り巻く情勢を考慮しながら、概ね10年以内の実現を目指す事業について、この長期構想から次期港湾計画へ位置づける予定です。	1
21	長期構想の中の響灘東部地区の大水深岸壁の港湾計画の位置づけ並びに早期着工を要望する。	北九州港の現状や、港湾を取り巻く情勢を考慮しながら、概ね10年以内の実現を目指す事業について、この長期構想から次期港湾計画へ位置づける予定です。	1

## ゾーニング（地区別）に関するご意見

(4/4)

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
22	響灘地区への進入航路を少し東側に振り、北からの波が直接港内に侵入しないよう防波堤建設などを提案する。	ご意見ありがとうございました。	1
23	国際競争力の強化よりも、北九州港の地の利を生かして国内貨物を集め、プサンへ送る考え方も必要と思う。	ご意見ありがとうございました。	1
24	新浜地区は、既存の倉庫等の問題もあり、倉庫が移転しないと、港湾再開発による国際フェリーやクルーズ船ターミナルの整備は難しいのではないかと。	既存倉庫の再編や門司港レトロ地区の拡張、さらに国際フェリーへの対応など、長期的に取り組んでいくべき内容と考え、長期構想において位置づけています。	1
25	国際フェリーは、港づくりだけでなく、背後のまちづくり（商店街等）と一体となった取組みを希望する。	ご意見ありがとうございました。	1